



針金 勝彦
(平政会)

日本海沿岸東北自動車道の建設の現状は

質 日道も二ツ井まで完成しているが、能代港の利活用、各市町村とのネットワークの強化、交通の利便性の向上、交流人口の増加のためにもあきた北空港までの着工の見通しは。

答 国の道路整備計画は、厳格な事業評価を行うことにしているが、人口、車両台数の少ない地方にとつては厳しい状況にある。現道活用などによる高速ネットワークの形成を要望内容に加えるとともに、高規格道路の整備については、採算性や効率性のみに偏重せず、総合的に評価されるよう国、県に要望していく。

路線バスを含めた公共交通のあり方

質 各家庭での自動車の保有が増え路線バスも減り周辺部では日常生活に不便を来す住民が増加していると思うが、乗合タクシーのような形態のシステム導入の考えは。

答 予約制の乗合タクシーなどの新たな公共交通サービスが一部自治体で導入されている。利用が伸びている所もあるが、地域の実情に合わずに見直しを余儀なくされた例もある。来年度、公共交通に関する基本計画を策定する予定であり、さまざまな手法について検討し、本地域に適した公共交通体系を構築したい。

その他の質問事項

- ・バス路線補助を含めた見直し検討
- ・メディアリテラシー教育の拡充



飯坂 誠悦
(創風会)

企業立地促進の現状と課題

質 市は、昨年から新たな企業立地の部署を設けたが、現状と将来的な地域産業振興戦略はどうか。能代に進出を希望した有望な企業の誘致ができなかったことへの検証はどうか。

答 企業立地促進に向け能代市の企業立地を考える会や秋田県資源リサイクル産業育成研究会等が組織されている。市商工業振興促進条例の改正で企業誘致の条件整備の強化等地域性を生かし積極的に取り組む。当該企業は、工場建設を急いでいた経緯もあり、進出条件とタイミングが合わず結果的に立地まで至らなかった。

道路の維持管理

質 旧国道7号で歩道のない箇所はそのままよいか。安全を確保する手立てはいかに。歩道に代わる側溝のふたが劣化破損しており、住民参加による補修が可能なのか。

答 歩道の設置は、道路両側に家屋があるため、困難であるが、歩行者の安全性確保については、自治会と協議しながら検討していく。側溝のふたの劣化破損は、住民要望により危険箇所から順次補修しているが、道路の維持管理を市ですべて行うのは難しく、地域住民の協力が不可欠である。今後協働をさらに拡大したい。

その他の質問事項

- ・郷土の偉人を全国にPRする市長サミット



小林 秀彦
(日本共産党)

農地法改正案

質 農地法改正案は、企業の農業への参入を原則自由化し、農地所有にまで道を開くものであり容認できない。このことについて市長の御見解を伺う。

答 改正案は、耕作者主義から利用者主義への見直し、農地転用規制の強化、農地の権利移動の許可基準の見直し、遊休農地の農業上の利用増進を図る措置の充実を柱としたものとなっている。この改正案は、現在、参議院で審議中であり、現時点では、成案が示されていないため、今後の審議を見守りたい。

国民健康保険税

質 今回の国保税の大幅な引き上げに伴い、市民の負担はますます重くなる。さまざまな事情により滞納する市民がふえていくことを危惧する。今後どういった対応をするのか。

答 国民健康保険税には軽減制度があり、世帯の所得に応じて負担の軽減が図られている。また夜間、休日等の納税相談に力を入れ、徴収猶予や分割納付等の活用、租税負担の公平性を考慮し、減免制度を適用したい。そのほか資格証明書の発行、財産の差し押さえ等により、公平性を重視した努力を重ねていきたい。

その他の質問事項

- ・イオン出店とまちづくり
- ・能代港における汚染土壌
- ・能代産業廃棄物処理センター